小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　　総括表

法人名	医療法人社団松涛会	代表者	斉藤　正樹
事業所名	小規模多機能 ケアタウン山の田	管理者	保多盛　優子

法人・事業所の特徴	小規模多機能ケアタウン山の田は、地域包括ケアの考えをベースに作られた複合施設の中にあり、内科、薬局、リハビリセンター、グループホーム、コンビニ、サービス付き高齢者向け住宅と共に一つの地域を創りあげています。利用者個々の生活のペースを大切にし、地域の中でその人らしく生きる為の支援を行っています。自治会活動に参加し、近隣の方々やボランティアの訪問も受け入れ、地域と共に歩むことを目指しています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	1人	1人	人	7人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認			・近隣の幼稚園にクリスマス会や行事の参加を打診してみてはどうか。 ・泉幼稚園には九州場所の時に力士が毎年餅つきに来るのでその時に外出支援を行ってみてはどうか。	・泉幼稚園へのアプローチ 九州場所後、力士の方との交流ができるようにと、話が進んでいる。その他の行事でも園児に来ていただけるよう働きかけていく。
B．事業所のしつらえ・環境			・「家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか」という設問では「工夫がされているか？」と聞かれると、どういった工夫がされているのか分からない。目的があって入る際に入りにくさは感じない。	・運営推進会議に参加された際は、小規模へご案内し日々の様子を知っていただけるようにする。 ・サ付住宅に住まれている方々が、気軽に立ち寄れるような工夫をする。 （玄関に利用者様の作品を飾る、生花を飾る　等）
C．事業所と地域のかかわり			・気軽に立ち寄っていただいたり、介護の相談事を受けたことはまだない。来て頂ければ対応できる職員はいるが、まだ、気軽に地域の方がここに訪れて相談したり、ここに頼ったらいいという信頼を得るところまでは到達していない。	・来年度よりグループホームと合同でオレンジカフェを開催する。 レクリエーションを提供だけでなく、介護に関する相談を受けたり、小規模多機能についての説明を行い、地域の方に知って頂けるよう努める。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			・小規模多機能ケアタウン山の田が武久町にあるため、武久町を中心にした自治会の方々に会議への参加をお願いしているが、他にも、利用者が住んでいる町の自治会の方々に声をかけてみてはどうかと考えている。	・民生委員の方との関係をより密にして、独居の方や、心配な方がどのあたりに住んでおられるか把握する。 ・山の田・武久地区だけでなく、利用者様が住んでおられる地域の自治会の方にもアプローチしていく。
E．運営推進会議を活かした取組み			・地域の心配な方の事例検討まではできていない。来年度は運営推進会議の議題に事例検討を挙げて行きたい。	・運営推進会議を活かして、事例検討を議題に挙げ、話し合う。 ・地域との情報交換をさらに密にし、関係の強化を図る。
F．事業所の防災・災害対策			・地域で防災訓練を行っているが、訓練に出てこられる方は自分で逃げられる方で、それ以外の方をどう助けるかという事が課題である。下関市立大学の学生を巻き込み災害時は独居の方の救助に向かうなど計画を立てている段階である。　　・ケアタウン山の田では、火災についての防災訓練を行っているが、風水害、地震については訓練は行えていない。	・事業所の火災訓練を向上させる。 ・高齢者の搬送の仕方を実践する。階段の移動や担架がない時の搬送方法など。 ・火災訓練の後に、救急のミニレクチャーを行う。出血や骨折がある方への対応法など。 ・運営推進会議に消防の方に参加していただき地域防災に関する意見をいただく。